

推薦の言葉

デジタルの時代にこそ紙の辞書を

保阪 靖人

『アポロン独和』が改訂された。「今度はどんなアプローチなのか」と辞典に携わった経験者としては興味津々であった。文のイントネーション表記や音楽用語、対話形式のドイツ情報など新たな試みが満載だ。もちろん初学者に「優しくていい」は今まで通り。デジタルの時代だからこそ「じっくり読む」紙の辞書が求められている。手元に置いて語や文の豊かな意味や用法を参照するのにうってつけの辞書である。（日本大学教授）

図鑑のようにめくってみよう

山本 佳樹

子どものころ、動物図鑑や植物図鑑をめくりながら時を忘れたことはないだろうか。単語の意味を調べるだけなら電子辞書やアプリでも事足りるかもしれない。しかし、未知の世界に想いを馳せたいなら、やっぱり紙の辞書にかぎる。アポロンを図鑑のようにめくってみよう。アップデートされた単語や例文、工夫されたコラムや付録が、ときめく出会いを待っている。発音も聴けるようになった。ここからドイツ語の冒険に羽ばたこう。

（大阪大学教授）

つつい読みふけてしまう素晴らしい辞典／事典 清野 智昭

危ない、危ない。知らない単語を引いただけなのに、つつい読みふけてしまう。執筆者の仕掛けに身を任せて、ドイツ語の大海に漕ぎ出そう。語の意味や用法の記述が正確なのは当然として、例文はどれも考え抜かれ、暗記すれば正しい語感が身につくように工夫されている。類義語との微妙な意味の違いもわかる。圧巻は巻末の「付録」。音楽用語や建築様式まで載っている。アポロン [第4版]。素晴らしい辞典／事典が誕生した。

（学習院大学教授）

太陽神のごとく！

小黒 康正

手元の独和辞典で Nationalsozialismus を引いてみよう。英和や仏和辞典の対応語の項目でも、国語辞典の「ナチス」や「ナチズム」の項目でもよい。実は、高校の教科書で採用されておらず、専門家がほとんど使わない「国家社会主義」という訳語が大半だ。その中で『アポロン』は「国民社会主義」という訳語をいち早く採用。何という剛毅果断！進取の気性に富むこの辞書は、日本の辞書の歴史において、太陽神のごとく光を放つ。

（九州大学教授）

イントネーションを視覚的に捉えて単語を覚えよう 生駒 美喜

新しく習ったドイツ語の単語や表現で例文を作り、ノートに書いて発音する。このようにして文字と音声の両方で語彙を覚えていくことを私は学生に勧めている。『アポロン独和辞典第4版』では、キーセンテンスとなる例文が豊富で、音声を聞き、イントネーションを視覚的に捉えることができる。この辞典を用いれば、学習者が生きたドイツ語を効果的に身につけることができると確信している。

（早稲田大学教授）